



EMC事業通信第1号

2015年7月29日発行

2015-16年度EMC事業主任

小野 勅紘(六甲部西宮クラブ)

<事業主題>

- > **年度主題**: クラブの**意識高揚(C)**を図り、楽しく充実した例会に仲間をお招きしましょう。そして、クラブの特性に合った**増員計画(M1)**と、**ドロップ阻止(M2)**に工夫を図りましょう。
- > **長期主題**: 2022年のワイズ100周年に向けて計画的な増員を図ろう!
コンセプト: Y'S MEN'S WINDOWS 100(→2022)



西日本区の皆様、この度2015-16年度西日本区EMC事業主任のお役目を担当させていただくことになりました。小野勅紘(六甲部西宮クラブ)です。1年間どうぞよろしくお願いたします。

【今月の目次】

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 主題について | 5. EMC事業主査研修会 |
| 2. 事業方針について | 6. 「入会式の窓-1」 |
| 3. 事業計画について | 7. 「EMCの窓辺でちょっとブレーク-1」 |
| 4. 第1回EMC事業委員会 | 8. 「EMC事業主任の大きな一人言-1」 |

1. 事業主題について	<p>> 今期の主題は「年度主題」と「長期主題」併設の二本立てとしました。EMC事業は単年度で収束することは少なく、「過去」から「現在」また「未来」へと受け継がれていくべき事業であり、継続性が重視されます。</p> <p>> 年度主題: 「C(意識高揚)」→「M1会員増員」と、「M2ドロップ阻止」をクラブの特性を生かして工夫を図って下さい。</p> <p>> 長期主題: 2022年のワイズ100周年を目指した計画的な増員計画。 Y'S MEN'S WINDOWS 100(→2022)</p>
2. 事業方針	<ul style="list-style-type: none"> ・意識高揚: EMCシンポジウム・研修会等→ ・活性化: 各部EMC推進チーム→ ・工夫: クラブの特性を生かしたM1(増員)とM2(ドロップ阻止)の工夫→ ・作戦: ユース支援・青年会員獲得作戦→ ・支援: 新クラブのチャーター支援→ ・普及: HP利用の会員活動開示などによる水平展開 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>長期継続化: 2022年・100周年に会員数2022人+100クラブを目指す</p>
3. 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・増員108名以上—ドロップ53名以下—純増55名を目指す。 ・新クラブチャーターは年間2クラブを目指す。 ・全部でのEMCシンポジウム(研修会)の開催。全部9部。 ・全部でのEMC推進チーム結成と活動。全部9部。 ・入会動機・退会動機の研究と活用。(部単位) ・青年会員獲得、Y-3クラブ、ヤングクラブへの支援。 ・EMC活動に貢献された方の体験談や部の取組をHPに公開。 ・YES献金への協力と活用。

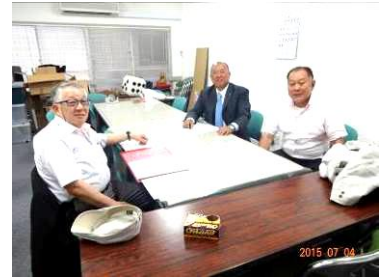
第1回E西日本区MC事業委員会

日時:2015年7月4日(土)10時00分～11時30分
にて

会場:西日本区事務所会議室

—議事—

左から小野現、山藤次期、河原直前
各事業主任、西日本区事務所



1. 引き継ぎ(河原EMC直前事業主任)

① 河原正浩直前EMC事業主任から**引継ぎ書**受理。
2015年6月30日付の**前期の最終数字**を集計中で
8月中旬頃の公開と引継ぎ

② **西日本区2000推進チーム**は2015年6月30日で**解散**。同時
にその**余剰金**の594,000余円が西日本区会計に入金され、2014-15年度第3回役員会にお
いて、その用途が今後「**新規チャーターする新クラブ活動資金**」として承認された。チャーター時に祝い
金として、1クラブ各100,000円を贈呈する。残金が無くなった時点で終了とする。

③前期活動では増員は予想通りに行かなかった。「**ドロップ防止**」の重要性痛感。

2. 今期活動方針の説明(小野EMC事業主任)

①今期方針は「**年度主題**」と「**長期主題**」の併設。長期主題は次期以降も継承して欲しい。

・ワイズ100周年の7年後の2022年に100クラブ+2022人達成の部別、クラブ別割当表を作成し、シ
ンポジウム等で説明。コンセプト:**Y'S MEN'S WINDOWS 100(→2022)**

②今期使用書式の説明

・今期の**EMC集計**は**毎月単位**とする。(翌月5日提出は変更なし)書式の説明。

・会員異動報告書の書式について 「変更」の項目について誤解がある。第2回役員会において変更を
提案予定。また提出先提出時期の説明が必要。6月～7月に輻湊。

・今期表彰基準を新設したい。「**EMCパートナー賞**」の新設。

1年間に3人以上をスポンサーするという「**国際ブースター賞**」のハードルを下げて、過去に3人以上スポン
サーの経験者を表彰する。そのためのピンバッジを500個作成する予定で見積もり徴収中で今期の予
算に製作費200,000円を計上した。構想の詳細を説明。

③YES献金の単価の確認

前期180円と前々期の単価で納入のクラブがあったが、単価200円の徹底。

④今期の「強調月間ステートメント」を報告。(主題・方針との関連性)

⑤事業主査研修会の開催

7月5日午後から新大阪丸ビルにおいてEMC事業主査研修会を開催予定。

⑥EMCシンポジウム(研修会)の開催

各部評議会や各部部会などを利用してEMCシンポジウム(研修会)を実施していく。各部にEMC事
業主査の交通費をお願いする。今後の予定:7月5日(日)九州部評議会、11日(土)瀬戸山陰部
評議会。25日(土)六甲部評議会。11月14日(土)西中国部部会。

⑦データベースの構築

西日本区のHP内の資料庫内に「データベース」欄を設けて、今後ワイズとして必要なデータを蓄積し、
活動の資料に生かす。更新は当期の主任他担当者が当る。EMC事業としてアップ予定のデータベース
資料:**Y'S MEN'S SWINDOWS 100(→2022)**達成のために実行計画割付表、平均年齢表、定
着率表、増減率表、女性会員・青年会員占有率表など。

⑧EMC事業通信の中にEMC活動の原稿を連載

EMC事業の啓発のため、EMC事業通信内に各部からEMCに関する原稿をお願いして連載していく。

7月号:大岩ワイズ(京都グローバル)、8月号:森本ワイズ(大阪高槻)、9月号:菅ワイズ(熊本ひがし)、
10月号の阪和部～6月号の九州部まで順次連載。

⑨役員会への提言

第1回役員会へは、長期主題実現のための「Y' S MEN' S WINDOWS 100(→2022)」に実現のための実行計画を協議事項として提案する予定。「余剰金管理規程新設」「会員異動報告書書式の変更」は第2回役員会に提案の予定。

⑩今期のEMC事業委員会開催予定表の配布(予定4回)

3. 次期への活動構想(山藤次期EMC事業主任)

山藤次期EMC事業主任より次期への構想をお願いした。現在今秋の次期役員研修会に向けて作成中であり、岩本次期理事の九州部まで集まって準備活動が始動されたことが報告された。次期主題や方針が出来次第報告する。

EMC事業主査研修会

日時:2015年7月4日(土)13時20分~16時

会場:新大阪丸ビル503号室

出席者:遠藤理事、正野書記、飯沼会計(各大阪泉北) (敬称略)

主査:小林滋記(中部)、山岸裕明(京都)、白井春夫(阪和部・望月主査代理)、掛谷太郎(中西部)、新井みちる(瀬戸山陰部)、町田由美子(九州部)、欠席:びわこ部、六甲部、西中国部

主任:河原正浩直前主任(京都トップス)、山藤哉次期主任(京都グローバル)、小野勅紘主任(西宮)

1. 遠藤理事挨拶

2. 事業主任からの報告・説明

①午前中の事業委員会の報告

書式の変更(今期は集計を毎月とする。部単位の書式は早々にメール添付で配布)、余剰金の使途など(事業委員会の項参照)

②今期EMC事業の主題と方針の説明

・Y' S MEN' S WINDOWS 100(→2022)と実行計画による割付表の説明。過去の増減の調査は現在作成中。(未完成) 早々にアップしたい。本来この過去のデータの傾向から上記の実行計画に繋げるも。

③EMCシンポジウム(研修会)の開催と各部推進チームの運営について。今後の予定と早期開催。④2013年に作成のリーフレット利用の奨励。(HP内の資料庫内にサンプルが掲載)

⑤今期の表彰基準と新規表彰項目「EMCパートナー賞」の新設。ピンバッジ500個作成。

⑥EMC人脈関係図の利用とEMC対策リストの説明。

3. 各部からの主題・方針の発表

①中部(小林主査)

部会、評議会などにおいてEMC増員の強化を訴える。前期で名古屋プラザクラブが解散して減少。(大島ワイズのみ名古屋東海に移籍。)

② 都部(山岸主査)

主題:心のキャッチボールしてますか? 期首・期中のEMCシンポジウムを計画しており、さらなる増員を図りたい。もともと京都部では555推進チームがあったが、現在では600を目指す勢いである。ただ一部小さなクラブもあるので、そういったクラブの強化も併せて行いたい。

③ 和部(白井代理)

意識高揚→活性化→工夫→作戦→支援→普及を図る。

シンポジウムと推進チームでのアピール。特性に合った増員とドロップ阻止。YMCA関係者、リーダーOB、父兄などの人脈を利用。

④ 中西部(掛谷主査)

主題:10年後を見据えて。

各クラブ各1名の増員。新人のフォロー。EMCシンポジウムの開催。(10月頃予定)、「わかってんの会」との連携。ワイズの森作り。

- ⑤ 六甲部(安行主査<欠席>・小野説明)
ワイズの優先度を高め、若返り。例会の充実。シンポジウム・推進チーム活性化。ワイズ100周年に向けての計画的増員。
- ⑥ 瀬戸山陰部(新井主査)
シンポジウム(研修会)による意識高揚を図り、計画的増員を図る。姫路と姫路Gの減少が目立つ。小さな部であるので地道な活動で立て直しを図りたい。
- ⑦ 西中国部(黒河主査<欠席>・小野説明)
EMCシンポジウムで活性化を図りたい。(11月予定) M1(増員)で存在意義を確認。理解の上でのチャーターを目指す。合併化の検討会。
- ⑧ 九州部(町田主査)
シンポジウムで意識高揚を図り、推進チームの立ち上げと活性化。各クラブの特性に合ったEMC協働を図る。特性に合った増員とドロップ阻止。

4. 自由討議

5. 遠藤理事の閉会挨拶

(16時終了)



前列左より、山藤次期EMC主任、河原直前EMC主任、遠藤理事、小野EMC主任、正野書記、後列左より、町田(九州部)、新井(瀬戸山陰部)、山岸(京都部)、白井(阪和部代理)、小林(中部)、掛谷(中西部)各EMC事業主査

入会式の窓

- 1. 九州部阿蘇クラブ・大木麻里子さん
7月5日(日)九州部第1回評議会懇親会
ホテル日航熊本にて



中央のピンクの服の方が入会式に臨まれた大木麻里子さん(阿蘇クラブ)、その左が小野、さらに左が町田EMC事業主査、大木さんの右隣が阿蘇クラブ期待の星、五嶋九州部部長、大木さんは結婚相談所を主宰されておられるとのこと。

- 2. 六甲部神戸ポートクラブ・井上真二さん
7月9日(木)三宮たーミナルホテル
神戸ポートクラブキックオフ例会にて



左より、小野、井上真二さん、安行EMC事業主査、山崎ワイズ(司式)、井上さんは4月より神戸YMCA総主事に就任された新進気鋭のフレッシュマン！早速女性ファンクラブが出来たとか出来なかったとか。井上真二さんとお友達になりたい方は是非ワイズへ！お待ちしております。

3. 次の入会式、待ってま〜す！ 【ご招待席】

EMCの窓辺でちょっとブレークー1

今期のEMC活動は基本的には全員参加の活動にしたいと思っております。全ての皆様のノウハウを惜しみなくご披露いただき、そのご経験や足跡を共有していきたいと思っております。そこで、全ての9部からかつてEMC事業に対して経験豊富なワイズメンのヒストリーを語っていただき、全員で共有したいと思います。今月から毎月連載でそういったヒストリーを掲載していきたいと思っております。今期のトップを飾っていただくのは、京都部の大岩英人ワイズ(京都グローバル)です。

★★★次月以降の予定★★★

2015年 8月号 中西部 森本 榮三ワイズ(大阪高槻)
9月号 九州部 菅 正康ワイズ(熊本ひがし)
10月号 阪和部 11月号 六甲部 12月号 中部
2016年 1月号 瀬戸山陰部 2月号 京都部 3月号 西中国部
4月号 中西部 5月号 びわこ部 6月号 九州部



『へんしん』しよう!! ～クラブの未来のために、ワイズの未来のために～

京都部京都グローバルクラブ
大岩英人ワイズ

2011～2012年度西日本区EMC事業主任を務めさせて頂きました京都グローバルワイズメンズクラブの大岩英人です。今年度小野勅紘EMC事業主任のご指名により、この貴重な紙面をお借りし、私のEMC(会員増強)に対する思いをアピールさせていただきたいと思っております。



1997年に1952名いたメンバーが、本年3月末現在で1604名と350名近いメンバー減少となっています。このメンバーの減少は単なる景気や社会情勢が悪いから、という問題だけではないように思います。大きな原因にクラブの活性化をしていなかったからではないでしょうか。このあたりで今までのクラブの運営の方法、例会の持ち方、奉仕活動の内容、などの概念を少し取っ払って『マンネリ化の脱出』、少しの『へんしん』してはいかがでしょう。一人の小さな『へんしん』が集まれば、大きな『へんしん』となり、クラブがきっと『へんしん』するでしょう。しかし、『へんしん』にはクラブメンバーの勇気と団結が必要です。どうか一度クラブで『へんしん』について語ってください。そして少しでも実行に移して下さい。きっと良い方向に進むと思っております。

～クラブの『へんしん』ポイント～

1. 会員増強・会員造強によるクラブ資質の向上です。
『増強』は今まで通りの新メンバーの発掘です。そして『造強』は既存メンバーの意識改革、資質・意識の向上を意味しております。
2. 100%出席を目指した魅力ある例会運営です。魅力ある例会のキーワードは『楽しい・めりはり・充実・目配り・気配り・心配り』だと思います。
3. プラスワン例会、オープン例会等のゲスト歓迎型例会の開催です。ワイズに対する理解を深めていただく機会を作っていただきたいと思っております。
4. クラブとの合同例会、合同事業、事業協力を積極的に行い、親睦と情報交換を図る。

最後に私が入会以来19名のスポンサーをすることができた私なりの誘い方をご紹介します。

★『私のメンバーの誘い方 10ヶ条』

- まず自分が輝く。
- とりあえず手当たり次第、声をかけ例会に誘う。
- 同年代より下にターゲットを絞る。
- できれば自営業の人、家族経営の人を誘う。
- ワイズを異業種交流の場と位置づけ、一気に何十人の友達が増えるという楽しさをアピールする。

- ワイズに入会することによってその人にどんなメリットがあるかを探る。
- 本人にとって絶対に『損』はないことを伝える。しかし、『徳』は自分で探って欲しいと伝える。
- 一年間通して、活動して楽しくない、意味がない、メリットがないと思った時は退会してもいいと伝える。
- 一人ぐらい無理を聞いてくれる人を探す。
- 断られても、断られても誘い続ける。とにかく粘り強く！！

クラブの未来のため、ワイズの未来のため、EMCへ更なる関心とご尽力をお願いし、結びとさせていただきます。

(2011～2012 年度 EMC 事業主任)

EMC事業主任の大きな一人言-1

西日本区の皆様、EMC事業主任としてキックオフの時を皆様と一緒に無事スタートを切ることが出来ました。とはいえ、毎年期末恒例の「ドロップ・ラッシュ」には愕然といたします。

そういったことから私は3年前、六甲部EMC事業主査時に「EMC意識アンケート」を実施し、「何故ワイズメンズクラブを退会したのか?」という「マイナス面」のテーマにチャレンジしてみました。その結果、退会動機の順位は「①多忙」、「②死亡」、「③活動意欲の減退・クラブ内のトラブル」、「④高齢・健康上の理由」、「⑤転勤・移転・失業・廃業等」、「⑥介護」・・・等の順でした。

それ以外に、以下はあくまでも私の個人的想像の域ですが、意外に「ボランティアの本質に関する違和感」があるのではないかと想像します。というのは「ボランティア活動と聞いて入ったが、何だ例会で食事をして話合っているだけで、ちっともボランティア活動をしてないじゃないか」という失望感想をお聞きしたことがあるからです。ご存知のように阪神大震災で「ボランティア元年」という言葉が焦点になり、東日本大震災を経て、一般に「ボランティア活動」というと被災地などでのワークだけがボランティア活動であるかのように思われがち傾向を感じます。

ワイズへの導入の仕方には色んなアプローチ方法があるでしょうが、主なものとして思いつくのがこの「ボランティア活動」、「地域奉仕活動」、「異業種交流」、「親睦・交流」、「自己研鑽」、「友人が出来る」、「国際活動」、「仕事が増える」等々・・・でしょうか。そういった切り口から見ればワイズの活動はまさに、一つや二つではなく「ダイバーシティ(多様性)」の活動ではないかと思われれます。それだけ期待感を持って入ってこられた場合、それを満たす「満足感」が得られたかどうかという検証が、その後のワイズ活動を継続するかどうかのパロメーターにもなるのかも知れません。

大きな視野でどうすればクラブの、あるいは自己の満足感を満たすことが出来るかを話合っ欲しいのです。その中で、ワイズの根幹で根底に流れているミッションは「YMCAをサポートして青少年を育成する」という活動です。むしろこの活動こそがワイズの基本であるでしょう。従って「YMCA理解」を深めていけば決して「ブレル」ことはないのです。

EMC事業は現在実施している西日本区の5事業の全ての事業と関連して協働活動は必至要件です。取り分け「YMCA理解」を深めていくための「YMCAサービス・ユース事業」とのコラボ活動は避けて通れない道です。そういった観点から今期の活動の糸口を探っていこうかと思っております。皆様のご支援とご意見を期待しております。(小野)